

NHK主催の夏の展覧会について

テレビ放送60年の記念事業として、番組と連動したNHKならではの大型展覧会を7月から開催します。多彩なラインナップで、夏休みに家族でお楽しみいただきます。

1. 特別展「深海」－挑戦の歩みと驚異の生きものたち－

今年1月に放送し、大きな反響があったNHKスペシャル「深海の超巨大イカ」を受け、最新の放送機材を駆使して撮影した迫力ある映像と、最新の深海探査機、深海の環境に適応してきたためずらしい生物標本などの展示で、深海の謎と魅力をあますことなく伝えます。

【会 期】平成25年7月6日(土)～10月6日(日)〈87日間〉

【会 場】国立科学博物館(東京都台東区)

【展示内容】・ダイオウイカ全身標本展示

・有人潜水調査船「しんかい6500」実物大模型

・「深海シアター」

ダイオウイカほか、これまで撮影されてきた深海のいきものたちの映像上映

・300点以上の深海生物標本展示 ほか

【関連番組】NHKスペシャル シリーズ「深海の巨大生物」 7月放送予定〈総合テレビ〉
第1回「伝説のイカを育むオアシス」 第2回「謎の海底サメ王国」

2. ルーヴル美術館展 ～地中海 四千年のものがたり～

東洋と西洋が交差する場であった「地中海」をテーマに、全8美術部門から200点を超える多彩な作品が出品される、ルーヴル美術館オリジナルの展覧会。古代から19世紀まで、四千年におよぶ「時間と地域を超える旅」をお楽しみいただきます。

【会 期】平成25年7月20日(土)～9月23日〈57日間〉

【会 場】東京都美術館(東京都台東区)

【展示内容】「アルテミス、通称“ギャビーのディアナ”」(日本初公開)をはじめ、ルーヴル美術館全8美術部門から、200点を超える収蔵品が出品。

【関連番組】「北川景子×地中海 女神たちを探して」 8月放送予定〈BSプレミアム〉

3. 特別展「和様の書」

平安時代中期のいわゆる「三跡」と呼ばれる能書家の作品など、国宝・重要文化財約80件を含む約150件の名筆が一堂に集まる展覧会。日本の文化が育んだ文字の美しさや日本人の心を感じる、またとない機会です。

【会 期】平成25年7月13日～9月8日(日)〈51日間〉

【会 場】東京国立博物館 平成館(東京都台東区)

【展示内容】三跡(小野道風・藤原佐理・藤原行成)をはじめとする日本の能書家の作品や、四大手鑑などの名筆約150点。(うち約80点が国宝・重要文化財)

【関連番組】漢字から仮名が生まれた経緯や雅な文化が現代に与えた影響について探る番組を7月下旬(8月上旬)に放送予定〈総合テレビ〉